

のれ。越前も忽ち御掌小籠べ。遂に遠東御陣陣あくが。
淺井朝倉の三國をぞ。二好ニ角の倫革す。峰起じて長政
候。巻便こそと藏セ。揮わん。然も胸も看へ頗少て。諸方の敵を
防ぐに。被く体もと逃れ難う。と理を竭。道を絶て隠む
ごも。信長にまと勝り得。一塙の陣と従ふ。今又進叢の軍を
襲う。諸卒疲労小懐みて。惣と含む軍もあらん。まづ今宵ハ帰
陣。と。累て征伐をも。既ぞ而論天食小至。し。淺井朝倉の軍
と。この程少て。亦益とも。仁量の事。どう。做叢さん。是能よ軍を返
さん。と秀吉。御用ひらきを。惑ふて而こそ。詮方なれ。

繪本豊臣勲功記三編卷之九終